保育園再編計画説明会　質疑応答集

【保育園関係】

〇再編計画策定の時期・スケジュールに関する事項

質問等内容	回答
なぜ今のタイミングで再編を行うのですか。スケジュールが早すぎるのではないでしょうか。	理由の一つは、昨年度、市全体で公共施設の保有総量の削減を定めた公共施設等総合管理計画の見直しがあり、それを受け、今年度、すべての公共施設について今後の方針を検討することとしていたこと。また、もう一つの理由として、令和６年度に策定したこども計画では、すぐに再編をする必要がないとしていましたが、計画策定後２年を経た現在の出生率の低下が予想を超えるものであったため、このタイミングとなったものです。
統合が進んで、地元の地域性を知らない子どもも増えて地域のつながりが薄れてしまうのではないかということを考えると、今、お金や人数など合理的な理由だけで統合を進めていいのか、後戻りできないところに進んでしまうのではないかとの危惧も感じます。今回の住民の意見を聞いて、せめて閉園を保留にできないのですか。	ご懸念は理解します。 保留についてもご意見として受け止めます。
ここまでニーズがあるなかよしセンターを少子化だけを理由に閉園するのはよくありません。閉園ではなく、なんとかして存続させてほしい。今年度中に計画を決めるのは早すぎます。小学校の統合計画の公表からすぐに保育園の統合の話が出てきて、意図的に感じます。年度末にこだわらず保留にしてほしいです。	八幡平なかよしセンターに関するご意見は、計画を作る過程で、参考にさせていただきます。 発表のタイミングが意図的という意見については、今年度、市全体で施設のあり方を見直す機会があったため、タイミングが同じになったものです。
正直、矛盾がたくさんあるお粗末な素案にがっかりでした。鹿角を離れる人がますます加速するだろうなと。安全の確保という割に小学校から離れたところへの児童クラブの設置、保育園の縮小化の意図、病後児保育はまさかの考えていなかったとの回答、現保育士さんの今後のことも、とにかく不透明すぎる説明と回答によく説明会できたなという感じでした。なぜ小学校統合は伏線をはっていたのに、保育園統合の話は全く表に出なかったのでしょ	市の方針や説明が不十分であると感じられ、また、市の意見だけで決めている印象を与えてしまったとすれば、たいへん申し訳なく思いますが、あくまでも素案であるということもご理解いただければと思います。 本市では、子育て支援を重要な施策の一つとして捉え、持続可能な保育サービスの提供体制を整える必要があることから、急減する就学前児童数や入所率等を考慮し、保護者・児童の利便性や適正な集団規模と保育の質の確保・充実が図られることを基本的な考え方として、再編計画の素案を作成いたしました。市こど

質問等内容	回答
うか？　集団に適応できるように、質をあげるために、など綺麗事ばかり並べていますが、結局は保護者の意見や現場の意見は聞かず、市の意見だけで決めているのだなという印象でした。集団だけが良いわけではありません、ましてや子供が少ないからこそ先生たちも手厚くみてくれるからと今の環境を選んでいる保護者も多くいます。鹿角市は育児しやすいとおっしゃっていましたが、逆の方向にますます進んでいるとしか思えませんでした。市の都合だけではなく皆さんが納得できるような案を最終的に出していただけるよう願っています。 （メールによるご意見）	も計画策定時点で想定していたよりもスケジュールが前倒しとなっていることは説明会でご説明したとおりです。 また、病後児保育については、廃止は予定しておらず、集約後の保育園での設置は必然であると考えておりますので、今後計画案をお示しする段階で集約後の保育園の中から設置が可能な保育園を決めていく予定としております。 保育士の方々の働く環境についても、今後の計画案ではより具体的にお示しできるよう検討してまいります。 学校集約までの間、引き続き校外設置となる放課後児童クラブ２か所については、ソフト面での安全確保をできるだけ工夫してまいります。
保育園が統合されて子どもたちの負担が一番大きく、子どもたちの保護者も保育の現場で働く人にも利点はない気がする。 少子化が進みしようがないことだとは思うが、今すぐ再編しなければならないのか。１、２年で決定して実施できるような簡単なことではないと思う。もう少し検討して延期してほしい。 アンケートなどをとって市民の意見を聞くべきではないか。保護者や保育士、児童クラブ職員など、子どもたちに携わっている人たちの意見をもっと聞くべきだと思う。本当に保育園を統合して、児童クラブとして使用する必要があるのか聞いてもらいたい。 実際に現場を見たのでしょうか。各保育所、児童クラブで過ごす子どもたちの様子、どのように施設を使っているのか、児童クラブまでの通学の様子など。さくら保育園は１階と２階で年齢別に分けての保育で感染症対策を行ったり、広い園庭があり、子どもたちが過ごしやすい環境になっている。立地条件もよく、在籍数も多く、閉園すると困る人も多いと思う。 さくら保育園を閉園するのは反対です。もう一度検討おねがいします。 （文書によるご意見）	令和６年度に策定したこども計画では、すぐに再編をする必要がないとしていましたが、急減する就学前児童数や入所率等を考慮し、課題を先送りすることなく、保護者・児童の利便性や適正な集団規模と保育の質の確保・充実が図られることを基本的な考え方として、今、再編計画を策定する必要があると考え、素案として提示しました。いろいろなご懸念がおありと思いますので、素案をホームページで公表するとともに、説明会を開催し、広く、丁寧にご意見をうかがっているところです。 現時点で市でアンケートを実施する予定はありませんが、今後もパブリックコメントのほか、ご意見を伺う機会を確保しながら、成案化してまいります。
提示しているスケジュールは、無理やりこのスケジュールで進めるためにあるのではないですか。	あくまでスケジュールですので、順調に進んだ場合のスケジュールです。このスケジュールへの批判も参考にさせていただきます。

質問等内容	回答
このような説明会は今回だけですか。	１２月までに再編案を作る予定であり、その際に意見交換の機会が必要であれば、また設けていきます。
３月に決定というのは、３月に議会があって、そこで承認されて決定ということですか。	議決要件ではありませんので、議会に説明し、パブリックコメントでも意見を聴きながら、最終的には庁内の会議で決定します。
説明会で出た質疑は、Ｑ＆Ａとしてホームページに公表されますか。	市のホームページに掲載します。

○再編の進め方に関する事項

質問等内容	回答
小学校の統合と保育園の統合のタイミングが違うのはなぜですか。	保育園については、ある程度の人数を下回ったらという基準をもとに考えた結果です。 八幡平なかよしセンターについては、児童福祉法上の基準である 20 人以上を令和 11 年度で下回るためです。 あおぞらこども園と柴平小学校の時期のずれについては、柴平小学校は 1 校集約になるまで統合が不要という計画ですが、あおぞらこども園は児童数が減少し、令和 14 年度には花輪にこにこ保育園に集約しても受け入れられる人数となるため、令和 13 年度に閉園としています。また、現在の柴平児童クラブは学校から離れているため、より近くに設置するという方針から、閉園後のあおぞらこども園を児童クラブに転用したいためもあります。
小学校の統合予定時期（令和 13 年度末など）と保育園の統合時期がずれており、兄弟の送迎や環境の変化面で負担が大きいので合わせてほしい。	学校統合の基準（複式学級の発生など）と、保育園の再編基準（一定の児童数など）が異なるためタイミングにずれが生じています。送迎負担や子どもへの影響を考慮すべきというご意見は、今後の計画策定の参考にさせていただきます。
入園児童数の見込みは令和 14 年度までの推計となっているが、その後はどうなる予定ですか。出生率が低下していくと、さらなる再編が必要となりますか。	現時点では長期推計はしていませんが、持ち合わせられるようにします。現在３園にする計画ですが、子どもの数が減っても、通園に係る子どもと保護者の負担を考慮すると、これ以上の再編は難しいと考えています。
南部の保育所としてなぜ八幡平なかよしセンターが選ばれないのか。	市議会でも北部、中央部、南部と分けるのであれば、南部の保育所として八幡平地区に保育所を残すべきではないかという意見もありました。しかし、児童数の分布や通勤途上で子どもを預けることの利便性などを考慮すると、素案のとおりの地域区分になると考えました。

●うち、八幡平なかよしセンターに関する事項

質問等内容	回答
令和 10 年度末で閉園する計画となっていますが、せめて八幡平小学校の統合予定時期である令和 13 年度末までとしてほしいです。 （理由１）保育園と小学校が隣接しているため、統合のタイミングがずれると、兄弟がいる保護者の送迎が大変になる。 （理由２）八幡平なかよしセンターは、「かけはしプログラム」を先駆けて取り組んでおり、小学校へのスムーズな接続を進めてき	地域の声を受け止めて成案化していきます。 （理由１について）送迎負担については考慮します。 （理由２について）かけはしプログラムについては、なかよしセンターが閉園となっても、それで終わりというわけではなく、引き継いでいくものですので、引き続き取り組みを進めてくださるようお願いします。 （理由３について）20 人という定員については、大湯保育園の閉園の際にも、

質問等内容	回答
たが、ないがしろにされていると感じる。 （理由３）定員に関する法令の解釈について、素案では「児童福祉法に定められた定員 20 人以上を下回る想定」とあり、あたかも 20 名を下回ったら法令上継続できないような表現となっているが、小規模でも地域に合わせた保育を維持することは、公立保育所の役割ではないのか。集団規模の確保が再編の理由として挙げられているが、国の「保育所保育指針」に示す集団とは、単に同年代の人数を増やせばいいわけでない。小規模だからこそ手厚くサポートできるというメリットもあり、大規模に集約するのではなく、保護者が選択できるように残してほしい。	私立という違いはありましたが､国の基準である 20 人が判断基準になったため、今回のたたき台についても同様の基準としました。しかし、あくまで素案として示したものであるため、地域の実情などに合わせていく必要があると考えています。署名活動が行われることも聞いていましたので、そういった地域の声があることも考慮して成案化していきます。
「2 年後に閉園」というのは決定事項ですか。他の選択肢や保留の可能性はありますか。	あくまで素案の段階であり、2 年後に必ず閉園すると決定したわけではありません。皆様からいただいたご意見を考慮しながら成案化していきます。
八幡平地区の保育所をゼロにしてまで、わんぱくはうすに統合するのはなぜですか。	令和２年度以降の出生数が急激に減少している状況を踏まえ、再編すべきと判断しました。小規模でも残してほしいという意見は受け止めます。
小規模でも良いから地域に保育所は最低でも１つは欲しい。保育所がゼロになることで、子どもを諦める家庭があるかもしれません。	
南部の保育所としてなぜ八幡平なかよしセンターが選ばれないのか。	市議会でも北部、中央部、南部と分けるのであれば、南部の保育所として八幡平地区に保育所を残すべきではないかという意見もありました。しかし、児童数の分布や通勤途上で子どもを預けることの利便性などを考慮すると、南部は花輪のまちなかになるのかなと考えました。
八幡平地域全体の今後の在り方を考慮して、小学校の統合を遅らせ、そのなかで、八幡平なかよしセンターについても、児童クラブの機能を兼ね備えた施設としたり、地域の託児施設としたり、存続させてほしい。	学校の統合時期に関しては、教育委員会との協議が必要ですが、学校の再編計画も踏まえて保育園の再編計画を進めていきます。
八幡平なかよしセンターが閉園した場合の予算的なメリットは何ですか。浮いた予算は何に使われますか。	八幡平なかよしセンターにかかっている費用は約 1 億 1 千万円です。予算の削減分は、すべて子育て支援に使うとは言えませんが、子育て支援のほか、必要な部分に回していくことになります。

●うち、花輪さくら保育園に関する事項

質問等内容	回答
保育園が統合されて子どもたちの負担が一番大きく、子どもたちの保護者も保育の現場で働く人にも利点はない気がする。 少子化が進みしようがないことだとは思うが、今すぐ再編しなければならないのか。１、２年で決定して実施できるような簡単なことではないと思う。もう少し検討して延期してほしい。 アンケートなどをとって市民の意見を聞くべきではないか。保護者や保育士、児童クラブ職員など、子どもたちに携わっている人たちの意見をもっと聞くべきだと思う。本当に保育園を統合して、児童クラブとして使用する必要があるのか聞いてもらいたい。 実際に現場を見たのでしょうか。各保育所、児童クラブで過ごす子どもたちの様子、どのように施設を使っているのか、児童クラブまでの通学の様子など。さくら保育園は１階と２階で年齢別に分けての保育で感染症対策を行ったり、広い園庭があり、子どもたちが過ごしやすい環境になっている。立地条件もよく、在籍数も多く、閉園すると困る人も多いと思う。 さくら保育園を閉園するのは反対です。もう一度検討おねがいします。 （文書によるご意見）	令和６年度に策定したこども計画では、すぐに再編をする必要がないとしていましたが、急減する就学前児童数や入所率等を考慮し、課題を先送りすることなく、保護者・児童の利便性や適正な集団規模と保育の質の確保・充実が図られることを基本的な考え方として、今、再編計画を策定する必要があると考え、素案として提示しました。いろいろなご懸念がおありと思いますので、素案をホームページで公表するとともに、説明会を開催し、広く、丁寧にご意見をうかがっているところです。 現時点で市でアンケートを実施する予定はありませんが、今後もパブリックコメントのほか、ご意見を伺う機会を確保しながら、成案化してまいります。

○集約後の保育環境・定員に関する事項

質問等内容	回答
先生や環境が変わることは子どもにとって大きな負担になります。統合することによる子どもへの負担は考えたのですか。	子どものストレス対策については、まだ検討していません。学校では統合前に統合先との交流を設けるなどしていますので、保護者の意見も参考にできることを検討します。
八幡平地区の保育所がなくなると、わんぱくはうすへの統合になりますが、プールや広い園庭がないなど環境面が不安です。	入園決定は保護者の希望を踏まえて行うものです。 わんぱくはうすの環境に対するご不安の声は、重要な意見としてしっかりと受け止めます。
統合後の保育園の利用時間はどうなりますか。	おおむね７：００～１９：００を予定しています。
病後児保育はどうなりますか。	花輪さくら保育園で行っている病後児保育をどこで行うかは今後検討していきます。
病後児保育はまさかの考えていなかったとの回答、とにかく不透明すぎる説明と回答によく説明会できたなという感じでした。	病後児保育については、廃止は予定しておらず、集約後の保育園での設置は必然であると考えておりますので、今後計画案をお示しする段階で集約後の保育園の中から設置が可能な保育園を決めていく予定としております。
素案では、わんぱくはうすの在籍児童数の見込みが令和 11 年度に定員を上回る見込みとなっていますが、待機児童になりませんか。	4 月 1 日時点の定員超過は認められていませんが、年度途中の超過は国の基準でも認められており待機児童にはなりません。また、実際の集約の際には定員内に収まるように調整を行います。
閉園する保育園に通っていますが、閉園した後は保育園を選べるのですか。	希望をとって、審査後、入園先を振り分けます。
八幡平のこどもはわんぱくはうすで保育を受けるということになりますか。	素案では、わんぱくはうすに入園する想定で園児数を推計していますが、希望によります。
環境のよい八幡平なかよしセンターを活用するために、花輪地区の子どもがバスなどで八幡平なかよしセンターへ来るということは考えなかったのですか。	素案の時点では考えておりません。
幼稚園バスのように、統合後の移動支援を行う考えはありませんか。	保護者の送迎が基本ですが、ニーズが大きい場合には検討していきます。

○保育士の雇用・子育て支援・その他施策に関する事項

質問等内容	回答
保育園の統廃合に伴い、保育士の雇用や働き口はどうなってしまうのですか。	今回の再編計画で、保育士の方々に不安を感じさせていることは申し訳ありません。具体的な案は現在検討中ですが、できるだけ影響を少なくしたいと考えています。マンパワーの集約によりサービスの向上や働く環境の改善を図るとともに、別の形で保育士の専門性を生かせるようにすることも検討していきます。
現保育士さんの今後のことも、とにかく不透明すぎる説明と回答によく説明会できたなという感じでした。	保育士の方々の働く環境についても、今後の計画案ではより具体的にお示しできるよう検討してまいります。
保育園が減るので、女性が活躍できる企業誘致をするという話がありましたが、自分たちは働ければどこでもいいというわけではなく、悲しい。保育士を続けるためには、市外で働くことを考えなければならないのですか。	保育士は非常に貴重な人材であり、市外へ流出してしまうような状況にはしたくありません。企業誘致に関しては、あくまで１つのアイディアであり、それだけを進めるわけではありません。保育園が減っても、子どもに携わる新たなサービスができることが一番良いと思っていますが、子どもの数が減っている以上、市からの保育所への委託は減少していかざるを得ず、できるだけ影響を小さくできるようにしたいと考えています。
保育園を再編する前にすることがあるのではないですか。少子化対策として効果が出ているというなら数字で示してほしい。	すべてが子育てに向けられているわけではありませんが、若者の育成など、攻めの取り組みを行っています。出生率に関しては数字として結果は出せていませんが、引き続き努力していきます。
八幡平から学校も保育園もなくなることの影響を考えてほしい。移住や婚活、就労支援等進めているのであれば、人数が増えるような、希望をもった素案にしてほしい。人口が花輪のみに集中してしまいます。	まちづくりの考え方に関わるご質問ですが、市では、総合計画において、コンパクト＋ネットワークという考えを掲げています。みんなが使う施設は集約して、だからといってそれ以外の地区の住民が施設を利用できないということにならないよう、アクセスを充実するというものです。しかし、集約が進むことで問題もあるため、バランスをとる必要があると考えます。また、再編により経費節減になった部分は、子育てだけでなく、産業やほかの分野にも投資して取り組みを充実させていきたいと考えています。